



変わることの大切さ、
変わらないうことの大切さ



三遠メディメイツ理事長
小池 茂文

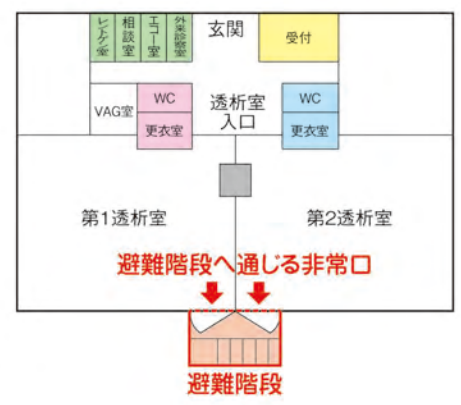
新しい豊橋メイツの建設について検討していた2年前のことです。「免震でいきたい」という私の意見に、スタッフは何の躊躇もなく賛成してくれました。これは患者さんの安全安心を最優先にするという意識がメイツ全体に行き渡っていることを示すものでした。私は多くの職員が同じ想いを持っていることを誇りに感じ、この施設を素晴らしいものにならなければならぬと決意したことを今でも覚えています。その建設工事ものほど、大勢の人に支えられて無事に終えることができました。そうした感謝の気持ちを胸に、これからもメイツで治療を受けてよかったと心から思っていたただけるように努力してまいります。

MATES INFORMATION

メイツインフォメーション

磐田メイツが津波時の避難場所への階段を設置

磐田メイツは、津波時の避難場所となる屋上への非常階段を設置しました。磐田メイツの周囲には高い建物がなく、海も近いため、津波警報や注意報が発令されたときは、屋上を一時的な避難場所として使用します。屋上の高さは、平面部分(一番低いところ)で海拔7.5m、アーチの部分(一番高いところ)で海拔10mです。位置は建物の南側で、第1・第2透析室に非常階段へ出るための避難ドアを付けました。



帰宅困難対策として約2000食を備蓄

メイツでは、災害時に患者さんや職員が帰宅困難になっても対応できるように食料の備蓄をしています。備蓄の量としては、3日間を想定して2,000食ほど。3種類のごはん(白飯・わかめご飯・炊き込みご飯)をはじめ、副食として3種類の缶詰(牛肉大和煮・とりそばろ・牛肉すきやき)を用意しています。



携帯カードもお忘れなく!

メモのところに今飲んでいる薬などを記入すると大変便利です。財布に入れて、常に持ち歩くことをおすすめします。

いざという時のためにメモして携帯しよう!

災害用伝言ダイヤル

もしものときは「171」

クリニックの情報を得られます

まずは「171」

最初の選択は「2」

クリニックの電話番号を市外局番から

市外局番 ()
-

プッシュ電話は「1」に続いて「#」を、ダイヤル式はそのまま待つ

伝言内容を確認

繰り返し「8」「#」次「9」「#」

memo

豊橋メイツクリニック
内科・腎臓内科・透析内科・循環器内科・血管外科

TEL.0532-66-1010
院長: 岸田 雅也
愛知県豊橋市平川南町73
④ 豊橋鉄道 路面電車「井原」または「運動公園前」下車 徒歩5分
⑤ 豊橋駅より20分

豊橋メイツ睡眠障害治療クリニック
内科・呼吸器内科・耳鼻咽喉科

TEL.0532-66-5678
院長: 小池 茂文
愛知県豊橋市東光町50
④ 豊橋鉄道 路面電車「井原」下車 徒歩3分
⑤ 豊橋駅より20分
<http://suiminmukokyu.jp/>

豊川メイツクリニック
腎臓内科・透析内科

TEL.0533-80-7575
院長: 万尾 利之
愛知県豊川市野口町ツイツ51-1
④ 名鉄豊川線「八幡」駅 下車 徒歩15分
⑤ 県道5号線(姫街道)野口町交差点を北進、300m先を左折

岐阜メイツ睡眠障害治療クリニック
内科・呼吸器内科

TEL.058-272-9300
院長: 田中 春仁
岐阜県岐阜市坂田南4丁目15-20
④ JR西岐阜駅より「西ぎぶくるくるバス」で10分(岐阜メイツクリニック北バス停下車)
JR「岐阜」駅・名鉄「岐阜」駅より岐阜バス20分
⑤ 岐阜羽島駅・岐阜羽島ICより20分
<http://suiminmukokyu.jp/>

磐田メイツクリニック
内科・透析内科

TEL.0538-33-0248
院長: 松田 孝一
静岡県磐田市大原705-1
④ 磐田駅よりバス「静岡産業大学前」下車、徒歩5分
⑤ 東名高速 磐田インターより15分

磐田メイツ睡眠障害治療クリニック
内科

TEL.0538-39-0300
院長: 新島 邦行
静岡県磐田市巾着田648-1
④ JR豊田町駅(北側ロータリー)より徒歩5分
⑤ 磐田バイパス森岡ICより南へ5分
<http://suiminmukokyu.jp/>



地震や災害に強い

先進的なシステムが快適で安全な治療を実現

昨年6月からスタートした豊橋メイツの新築工事がついに完成した。この建設プロジェクトは、これまで以上に安全で質の高い医療の提供を目的に行われたもので、医療機器や治療環境などさらなる充実が図られている。とりわけ大地震に備えて最新の免震構造を採用したのをはじめ、断水時に備えて透析液に必要な大量の水も地下水で確保した。今回の特集では、こうした豊橋メイツの新しい設備についてレポートする。

NEW 豊橋メイツ 完成



清浄な地下水は災害時における透析治療の命綱

大地震などの災害が起こったとき、

建物の損壊や設備の損傷があれば、医療機関として機能しなくなる。豊橋メイツが新施設のコンプットに掲げたのも、いかに患者さんの生命を守り、どのように透析治療を継続するかという災害対策だった。では、災害時に透析治療を続けるためには、どんなものが必要なのだろう。豊橋メイツクリニックの柴田雅也院長に訊ねた。

「大地震が起こった場合に備えて、今回の建設では建物の損傷を免れる免震構造を取り入れました。しかし、建物と設備の損傷を免れても実際に透析を行うには、大量のクリーンな水と電気が必要



です。災害時の復旧は、水道より電気の方が早いと考えられており、電気が回

復しても水道が復旧しなければ透析

はできないこととなります。ちなみに、電気の復旧は数日、水道の復旧は2週間ほどかかると言われています。大きな非常用発電機は設置しなかったため、停電時に透析をすることはできませんが、電気の復旧後、メイツが通常の透析医療活動を早期に再開するには水の確保が非常に重要なのです。」

そうした点を踏まえて、豊橋メイツが新施設の建設で最初に考えたのはキレイで豊富な地下水を確保すること。建物の工事前から井戸を掘り、安全で良質な地下水の汲み上げに成功した。

「基礎設計の段階から、1ヶ月かけて100mの井戸を掘りました。しかし、水が必ず出るという保証はないですし、たとえ掘り当てたとしても、充分足りるのか、水質検査で合格するかどうかはわかりませんでした。だから、水量・水質ともに問題がないことがわかったときは本当にホッとしました」

そう語るのは、新築プロジェクトの責任

者である熊谷勝年事務長。地下100mまで水を探すことは大変な作業である。だが、深く掘ることで雨水や汚水の影響を受けなくて済むのだ。加えて井戸水には、水道の断水時にも生活用水を供給できるという利点もある。

最近では透析医療の進歩により、患者さんの寿命が延びた一方で、長期間にわたる治療で動脈硬化や関節痛



といった合併症が問題になっていく。こうした長期透析による

合併症の一部は、透析液の清浄度が関係することがわかってきた。三遠メダイメイツでは、透析液の清浄化には以前から力を入れており、今回の豊橋メイツにも豊川メイツや磐田メイツ



新築プロジェクトの責任者で、東奔西走した熊谷勝年事務長。柴田雅也院長は新築に伴い真っ先に免震装置導入を提案したひとり。

と同じように、透析液の清浄化システムを導入した。その一つが、最新式の透析用水精製装置である。この装置は作製された精製水を滞留しないよう循環させるシステムや熱水消毒システムを装備している。また、透析液を供給する配管は、添加剤をまったく含まない高純度フッ素樹脂(PVDF)でできたものを採用した。この特殊な素材により、配管に付着・増殖する微生物の発生を抑制できるという。透析液も滞留がおきないように定期的に洗い流して清浄度を維持している。こうした透析液の徹底管理を行うことで、超純粋な透析液が患者さんのもとまで供給されているのだ。



万全の地震対策で、かけがえのない命を守る



The most up-to-date facilities

旧施設の隣に建てられた新しい豊橋メイックリニック。建物は5階建てで、延べ床面積は約5,000㎡。逆浸透装置や透析監視装置など、透析にかかわる最新鋭の装置が導入される



Obaru -Takashi Suzuki-

工事を担当するのは、メイックの建物をすべて手掛けてきた小原建設。現場責任者である鈴木隆さんは「免震を取り入れたことに、メイックの患者さんへの熱い想いを感じた」という

いつ起こるか分からない地震に、心身の不安を訴える人が増えている。長い時間をクリニックで過ごす患者さんの場合、地震へのストレスはさらに高まるという。そうしたことを踏まえて、豊橋メイックの新施設では今実現できる最高レベルの地震対策が施された。

東日本大震災以降、その重要性が再認識され、現在では建物の強度で地震に耐える「耐震」だけでなく、建物に地震の揺れを伝えないようにする「免震」を採用するところが増えている。震災前は多くのクリニックが耐震構造で建てられており、総合病院でも免震構造を導入するところは少なかった。そんな中、豊橋メイックは震災の発生前から、新施設の建設を耐震+免震で行うと決めていたのだ。

では、どういった経緯でこうした判断がなされたのだろうか。現場責任者である小原建設の鈴木隆工事長に、その頃のことを振り返ってもらった。2年前、鈴木工事長は新しい施設の概要を打ち合わせるために、豊橋メイックをたびたび訪れていた。そのとき、患者さんの安全確保や治療機能の維持を考慮し、建物の倒壊を防ぐ耐震機能だけでなく、建物や医療機器を振動から守る免震装置の要請があったという。

この免震構造とは、建物の地下に免震層を造り、基礎部分と建物を切り離すことで、地震の早く激しい揺れをゆつくりとした揺れに変えるもの。実際、ある病院では免震装置のおかげで、医療機器は破損から免れて、病院としての機能を保つことができた。だが、通常の工事に比べて、コストも工期も大幅にアップする。メイックではそうしたコスト面より、治療の安全性や継続性のほうがはるかに優先すると考えた。震災後、全国各地で実施されている地震対策を見ると、このときの決断はまさに未来のあるべきクリニックの姿を見通したものといえる。

また、床は一般的な建物のコンクリートより厚く施工することで、振動や音を伝えないように工夫されている。これは、メイックの配慮が治療だけに止まらないことを如実に表している。さらに、透析室の空調にはデシカントシステム（湿度調整装置）とインダクションユニット（放射整流空調整装置）、ストリーマユニット（ストリーマ放電式空気清浄器）を取り入れた。

このシステムは患者さんが湿度調整された冷暖房の風をほとんど感じることがない快適な透析ライフを送るための措置というから、徹底した患者さん目線のクリニックであることは間違いないだろう。



竣工時から始まる免震装置の検査。ゴム表面の傷や緩み、水平変位といった目視検査を毎年実施。5年・10年の定期検査では鉛直変位や水平変位などをミリ単位で測定する

Seismically isolated structure





患者さんと一緒にドライウエイト!

磐田メイックリニック

ウエイト
わたしの
それは、
ました。
でき
ことが
トでは気になる



透析1課の月水金
夜クールリーダー・伊藤
直美です。研究発表会
では、「透析治療におけ
る医療者・患者・家族
のあり方」をテーマにし
たアンケート調査を發
表しました。この調査
には患者さんやその家
族の想いがつまっている
ので、内容をしっかり
把握して、今できるこ
とからはじめたいと考
えています。プライベート
では気になる

オーバーです。夫は現
在、仕事でインドに単
身赴任中ですが、その
夫がびっくりするくら
いにスリムになりたいで
す。患者さんの中にも、
ドライウエイト(体内
の水分を取り除いたと
きの体重)を目指して
取り組んでいる方は多
いはずですが、違う意味
ではありますが、一緒に
がんばりましょう。

理事長賞を受賞した由衣さんがママに!

豊橋メイックリニック

1月に
行われた
研究発表
会で理事
長賞を受
賞した看
護師の三
浦(旧姓)
高橋(旧姓)由衣さん。いつも
可愛い笑顔を振りま
いていますが、受賞の知
らせを聞いたときはう
れしくて思わず泣いて
しまったそうです。そん
な由衣さんが常日頃心
がけているのは、患者さ
んひとりひとりに合わ
せて、言葉のかけ方や
対応の仕方を変えるこ
とだとか。だから、「安
心できる」「信頼してい



るよ」と、多くの患者さ
んから声をかけられる
ことが嬉しいそうです。
プライベートでは、同じ
豊橋メイツの看護師で
ある穏やかで寛大な且
那樣との新婚生活を
楽しんでいるとのこと。
そして、この9月にママ
になりました。

おめでとう!!

安らかな睡眠が健やかな健康を生む!

豊橋メイツ睡眠治療クリニック

岐阜メイツ睡眠治療クリニック

磐田メイツ睡眠治療クリニック

みなさんは十分な睡
眠がとれていますか。
「眠れない」「眠りが浅
い」という悩みを抱えて
いる方は、睡眠障害か
もしれません。この睡
眠障害は、居眠りによ
る交通事故はもちろん、
糖尿病や高血圧と
いった生活習慣病との
関係も深く、様々な疾
患にも影響を及ぼしま
す。メイツでは豊橋・岐
阜・磐田の3ヶ所に睡
眠障害治療のクリニッ
クを設置し、睡眠障害
に悩む患者さんをサ
ポートしています。が、
鉄道やトラックなど
運輸業界からの検
査依頼も多く、受

診者数は年々増加して
います。最近では大人
だけでなく、子供の睡
眠障害も問題となっ
ています。症状として
イビキや授業中の居眠
りなどですが、成長障
害や学力低下につなが
る可能性もありますの
で、早期に検査される
ことをオススメします。



「患者さんのホッとした顔が見たいんです」

豊川メイックリニック

ボタンホール穿刺を
ご存じでしょうか。シャ
ントを長持ちさせるた
めに、毎回同じところ
に針を刺すもので、痛
みの軽減や止血時間の
短縮といった利点があ
ります。豊川メイツで
も、穿刺困難な患者さ
んが希望した場合に実
施しています。看護師
の清家こうえさんは、こ
のボタンホール穿刺につ
いて熱心に取り組み、
今年の研究発表会で
は日頃
の研究
成果を
発表しま
した。いつ
も気をつ



けていることを聞く
と、「少しでも痛みが少
なくてすむようにじっ
くり焦らず穿刺してい
ます。うまく穿刺でき
た時の患者さんのホッ
とした顔を見ると、わ
たし自身も本當にう
れしくなります。これ
からも良きアドバイス
ができるよう頑張っ
て勉強していきます」と
元気な笑顔で答えて
くれました。



後悔と喜びと— 臨床医の生活

三遠メディメイツ会長 三木隆治

医者になって今年で44年。この間、様々な経験をしてきました。その中でも、私の心の底にいつもこびりついているのは「にがい」経験です。医者になりたての頃、往診先で脱水を見抜けず亡くなった患者さんから始まり、失敗や成功の繰り返しはずっと続いています。特に信頼していただいている患者さんが急死したときなど、後で「あの時ああすればよかった、こうすればよかった」との後悔は今もあります。

これは医者宿命で、どんなに名医と言われる人でも、心の底に後悔を抱えているでしょう。そうして医者は育ちます。反面、毎日の診療には穏やかな



喜びが漂っています。思わぬ病気が隠れていて、それを早く見つけたときや長く診ている方々の心身状態を



確認し、季節や環境、病状にあわせ、そのつど治療の方針を決め、それが役に立っていると実感できる時には医者としての喜びがあります。

年を重ねた今も、日々様々な場面で「患者さん、その病気や命を診る」ということは本当に重いことだと感じます。特に患者さんが家庭や仕事上の悩みや心配事を抱えておられ、それが病状に影響している場合は「医療でできる限界」を感じます。しかも医学の知識や技術は、コンピュータなどの情報技術が発展する中で、毎日学び続けなければ追いつけません。学び続ける。これが臨床医の生活です。



メイツの原点を忘れることなく、
地域とともに歩み続けてほしい

三遠メディメイツ

相談役/岡田 斉(おかだひとし)



小生の自宅を担保にして増築資金を借りたこともありました。

この30年を振り返って、豊橋メイツの今日は、患者さんからの信頼はもとより、周りの医療機関からの信頼、銀行や取引業者など多くのステークホルダーからの信頼、そして職員からの信頼、こうした信頼の上に存立できているのだとの思いを強くしているところです。

聳えたつ豊橋メイツクリニックの新しい建物を見上げていると、わずか20床の透析クリニックを開院した31年前のことが思い出されてきて、よくぞここまで大きくなったのだと、深い感慨に浸っています。

市民病院と成田病院から10名の患者さんを引き受けて出発したクリニック。三木先生の奥さまが毎日クリニックの掃除に来て下さったこと。三木先生の同級生の血管外科の先生や、名大泌尿器科教授となられた大島先生にシャントオペをお願いしたこと。三木先生の研修出張時の代務を市民病院や東病院の若い先生にお願いしたことなどなど。

お陰さまで市民病院や周りの先生方の信頼を得て、患者は着実に増えて、クリニックは改築と増築の連続であったように思います。先生と

新しい豊橋メイツの完成は、30年のゴールであることも確かではありませんが、同時に新たなスタートラインとして、メイツクリニックが地域社会の中で、どのような存在であることを期待されているかに常に思いを馳せて、独り善がりに陥ることなく、謙虚に、地域社会の中で大きな信頼を育んでいってほしいと願っています。

